

「大分でも市民総参加型の思い入れを込めた映画ができると思う」と話す林弘樹監督(左)と俳優の是永克也=大分合同新聞社



大分合同新聞

夕刊

市民総参加で製作「ふるさとがえり」

映画で「心の合併」

地域の課題や未来への希望
千人以上の対話もとに脚本

消防団活動を通して古里や家族の温かさを描いた映画「ふるさとがえり」が完成し、メガホンを取った林弘樹監督と出演している大分市出身の俳優、是永克也が大分合同新聞社を訪れた。

古里、家族の温かさ描く

この映画は昭和と平成の合併で13市町村が一緒になった岐阜県恵那市が舞台。大分でも思い入れを込めた映画ができると思う」と話す。

林監督は「映画の利点は記録がずっと残るといふこと。企画から市民が関わり、プロジェクトをスタートさせた。地域を掘り下げていった。また、出演者や出資者、スタッフなどの力を合わせることでエネルギーが生まれ、宝物ができた」と振り返る。

脚本づくりでは千人以上の住民が地域の課題や未来への希望で対話を重ね、6年間の準備をして半年かけて撮影し、今春完成。今秋に大分でも劇場公開される予定。

消防団の分団長役で出演した是永は「市民参加型の映画を作ることで、絆が生まれた。この映画は10代から100歳までの市民が関わった。震災もあり、古里へ。」

上映会、映画製作の問い合わせは「ものがたり法人 Fire Works」(☎03・3900・4836)へ。

芸能